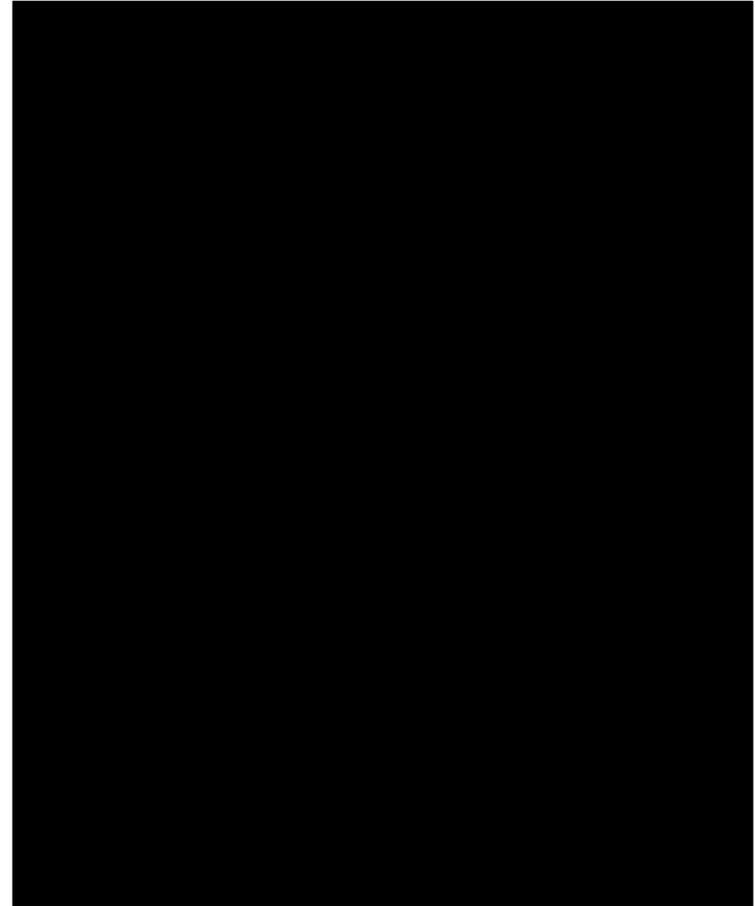
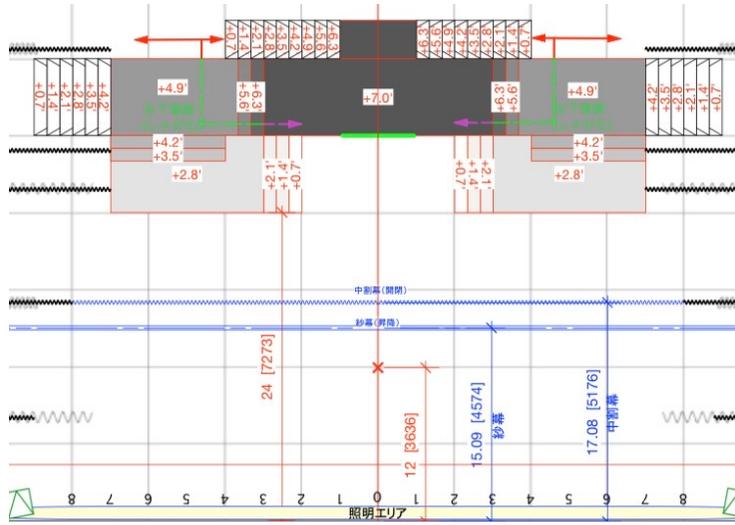


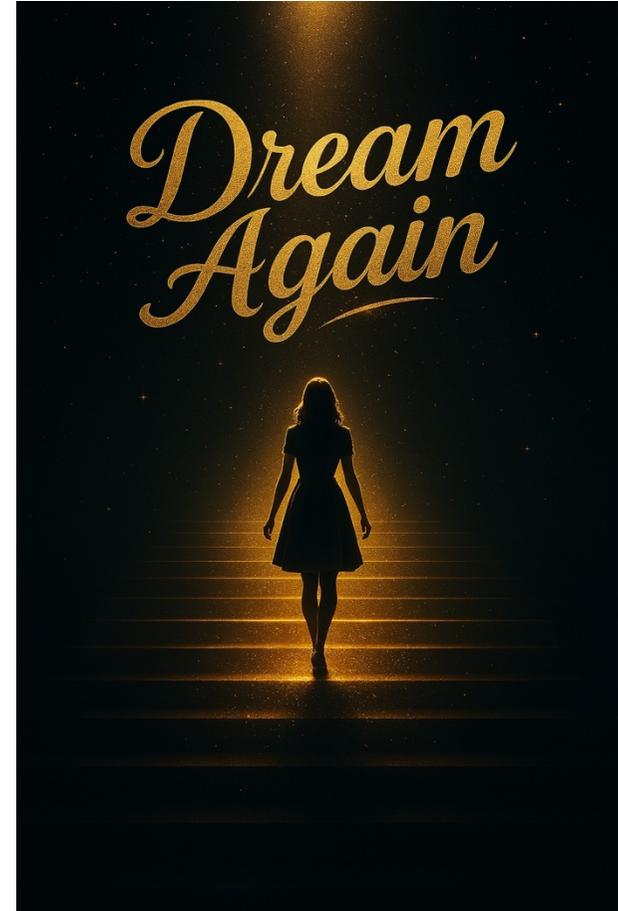


**SHOJIN  
ENTERTAINMENT LABO.**





【舞台図面】



【メインキービジュアル】

# 『Dream Again』私はもう一度、夢を歌う』

脚本・演出・振付 SHOJIN

## ●STORY●

これは――

「選ばれなかった少女」が、自分自身と向き合い、“主役”としてステージに立つまでの物語。

前回公演のフィナーレ、仲間たちの歓声の中で、たったひとり拍手を受けられなかった少女。

夢に破れ、自信を失った彼女の前に現れたのは、エンタメ界の魔人――あなたの救世主。

「君には大事な何かが欠けている…。」

ユーモア、ハングリー精神、エレガンス、純粹さ、色気、そして情熱。

少女は、眠っていた感情を一つずつ目覚めさせながら、自分の中にある“輝く力”を少しずつ信じ始める。

恥をかいても、間違えても、それでも「踊りたい」と願うその心こそが、誰にも真似できない“武器”になる。

そして――

舞台の中央（センター）に立ったその瞬間、彼女は“自分の物語”の主役になる。

●セットリスト一覧●

【第1章：そして夢は終わった・・・？】

- ・ Sing Sing Sing
- ・ I Hope I Get It

【第2章：Friend Like Me～運命の出会～、そして魔法の幕開け～】

- ・ Friend Like Me

【第3章：ユーモアってなんだ？～バカになれる人が最強～】

- ・ Hakuna Matata
- ・ Under the Sea

【第4章：ハングリー精神～声をあげろ、立ち上がれ～】

- Newsies ヌズジャー
- ・ Carry the Banner
  - ・ King of New York
  - ・ Seize the Day

【第5章：Elegance is Power～気品は、静かな自信～】

- ・ Steppin、 Out With My Baby
- ・ Top Hat, White Tie and Tails
- ・ Singin、 in the Rain

【第6章：原点～あの日、夢を見た自分を取り戻す～】

- Annie ヌズジャー
- ・ Tomorrow
  - ・ Hard Knock Life
  - ・ NYC

【第7章：色気ってなんだ？「私」を武器にする覚悟】

- ・ Sex is in the Heel
- ・ Big Spender
- ・ Le Jazz Hot

【第8章：情熱は嘘をつかない！魂ごと踊れ！】

- ・ Billy Elliot メドレー
- ・ Steam Heat
- ・ MJメドレー
- ・ This Is Me

【第9章：あなたが主役！このステージが、私の場所！】

- ・ 42nd Street

【カーテンコール】

- ・ You Can't Stop the Beat

【アンコール】

- ・ Disney メドレー(関西シャオチャンナンバー)
- ・ Your Story

●登場人物

未那 (MINA)

―夢をあきらめかけた少女。だけど、心の奥に“光”を持っている。

前回の公演で選ばれず、舞台の隅っこで拍手を見つめていた少女。夢を見ていたはずなのに、気づけば「私なんて…」と心を閉ざしていた。だけど、どこかで諦めきれない―そんな彼女の前に現れたのが、

エンタメ界の魔人・ヴォルコ。

ユーモア、ハングリー精神、エレガンス、色気、そして情熱。

彼女は、眠っていた感情をひとつずつ目覚めさせながら、自分を取り戻していく。



ヴォルコ (VOLCO)

―エンタメ界の魔人。“夢を諦めた者の前にだけ現れる”という噂もある。

その存在は、謎に包まれている。

時間も空間も超えて現れ、ただひとつだけの目的―

「あなたの“光”を呼び覚ます」ために、ステージへと導く。

厳しくも優しく、ユーモラスでどこか寂しげ。

彼の正体は誰にもわからない。けれど彼の言葉は、不思議と心に火を灯す。

「君には、まだ見せてない輝きがある」

ミナに寄り添いながら、時にふざけ、時に突き放し、

彼は彼女を“主役”へと導いていく。



【開演10分前アナウンス&注意事項（昨年のフィナーレ直前設定）】  
会場がざわざわしている中、少し緊張した声でミナが話し始める

ミナ（少し息を整えながら）

「皆さん、こんにちは。」

えっと、開演まであと10分となりました。

どうぞ、お席についてお待ちください！！

私はミナ。

小さい頃から歌とダンスが大好きで、

踊っているときは誰にも負けない気がしてた。

でも、気づいたらいつもステージの隅っこで踊ってて、誰にも気づかれないうま  
拍手も届かない場所に立ってた。

クラスの子たちともなかなか打ち解けられないし、

笑顔で頑張ってるつもりだけど、

“主役”なんて到底無理。

あー私もいつか真ん中で踊ってみたいなー。

どんな景色なんだろう??

いつけない、そろそろ出番だ。

記念すべきSHOJIN先生の第一回公演、

フィナーレシーンに補欠の補欠で出させてもらえることになったんだ！

シングシングシングっていうミュージカルの名曲なんだけど、

とってもオシャレでカッコいいの！

私はほんの少しの出番、ステージの隅っこからだけど、絶対に目立ってやるんだから！  
たくさんの拍手、もらってやるんだから！・・・

大丈夫、練習してきたステップも、

あの音ハメも、全部この日のためにやってきた。

♪ちやーらら ちやーらら

ちゃららららー

ちゃっちゃらーらー らーらら

最後のチェックも OK!

私が頑張れるように、

皆さんに少しでもお願いがあるの、協力してくれたら嬉しいな。

○客席内での飲食は禁止となっております。休憩中ロビーにてお願いします。

○館内での喫煙は禁止となっております。外指定の喫煙場所をご利用ください。

○携帯電話などの電源はマナーモード若しくは電源をお切りください。

○会場内での録音、写真撮影などは、公演の妨げになりますのでお控えください。

私がセンターに立つ日が来たら、そのときはみんなに撮ってもらいたいなあ。

○客席からの声援、手拍子、拍手、大歓迎です!!でも・・・

個人名を叫ぶなど演出の妨げとなるような声援はご遠慮ください。

私、みなの名前は叫んでも良いよ!

・・・やっぱ恥ずかしいからやめとく。

よし、いよいよよ!

・・・はぁー自信ないなあ・・・。」

【開演3分前アナウンス】

会場内がざわざわしている中  
不思議な音楽と軽いスモークが漂う中、ヴォルコの声が響く

「Ladies and Gentlemen…

ようこそ夢の劇場へー！

あたしの名前はヴォルコ。

エンタメ界の魔人——\*\*“あなたの救世主”\*\*さ。

ぬあああに？このあたしを知らないですって？

まあそれもそのはず。

あたしは夢を諦めた者の前にだけ現れる、

なんとも特別な存在だからね。

ま、諦めたって言っても、

本当に夢を捨てちゃう人なんていないのよ。

例えば、そのあなた——

“もう無理かも”って思ったこと、あるでしょ？

今から始まるシヨ—は\*\*、Dream Again\*\*

そんなあなたたちにもう一度、

夢を信じるチャンスを手探りで欲しいってことで、

ここのボス、SHOJINがあたしを生み出したってわけ。

あたしだって大変だよー。

毎日ポケだのバカだのドヘタクソだの言われてもうほんとやんなっちゃうんだからー。

あんたがやりなさいよってねー。

・・・おほんおほん、

ちよっと余計なことを喋りすぎたわね。

あーれま、どうやら今日もいるみたいよ、

夢を諦めかけている子が。

自分の魅力にぜーんぜん気づいていないんだから。

いいかい？ スポットライトはね、  
ただ“立ちたい”って願うだけじゃ浴びられない。  
その一步を踏み出す“覚悟”が必要なの。

さあ、君の中に眠る“本当の光”を  
今こそ目覚めさせてみなさい。

夢を諦めたその瞬間から、  
人生は本当のショータイムを迎えるんだから。

さて、そろそろあたしの出番かしらね。

SHOJIN ENTERTAINMENT LABO。プレゼンツ

“ Dream Again ” —— ちみなく開演よー！

# フレンドライクミー DreamAgain版 歌詞

そう！この物語の主人公は君！  
だけどマスター あんた名前は？(ミナ。)  
誰も見向きもしない…

すごいオーラ 不思議な魅力  
全部教えてあげる  
ほーら みてよドカン！ ライト全部体に浴びて イエスサー

ご主人様 御用はなあに？  
ハイ、しかめつつらはやめて！ かわいくないわ

心惹かれる豪華なステージ！  
カモン、拍手はドンドンどうぞ  
あなたの夢に イエスサー

極上 最高 サービス  
ヨウ！ ザ・ボス！大将！キング！  
お望みの姿になるのよ ドゥビドゥバ…はあ？？

豪華けんらん あなたに届け  
最高の友達 とともに夢を叶えて

ワハハー どうだい  
ワハハー すごいだろう  
ワハハー イェーイイェーイ  
ドゥビドゥビドゥバー

こんなことできるかい？  
こんなことできる？  
こんなことだって  
お茶のこさいさいだーい

ちょっと見てよ、フー  
ホラ かわい子ちゃん ハハハー！

だからアブラカタブラアカンベー！  
もっと心で叫べ！

ご主人様 ほら願いをどうぞ  
私はエンタメの魔人  
そう！ 最高のお友達 オーイェー  
ごきげんなお友達 ヴォルコ！

見て 見て  
ユア・ベスト・フレンド！

ワハハー ワハハー  
そうごきげんなベスト・フレンド！

# ハードノックライフ DreamAgain版 歌詞

うんざりだもう　こんなくらしは  
つきはなされて　まいにち　じごく  
うんざりだ！

かぜがまどをゆらすよる  
さむいベッドにひとり  
なみだふくても　こごえる  
ぬくもりってなんだっけ？

こわいゆめ　みたよるでも  
だれも　たすけてくれない

さいあくだ！　なきたいよ  
つまらない　もうやめた

「スターになりたい！」  
「あんたじゃむりにきまってんじゃん！」

みじめなだけの　あきらめぐらし  
うんざりだ！

「ピーピー！　さあたちあがれ！  
ピーピー！　なきごとは　シーツにくるんで　すてちまえ！」

うんざりだもう　こんなくらしは  
たのしいことも　わらえることも！

どんなひびでも　けっしてまけない  
かがやく　あすがまっているはず！  
しんじよう！

# マイク

1	2	3	4	5	6
ミナ	ヴォルコ	振付師 (SHOJIN)	アニー (Wキャスト)	ダンサー →ビリー(Wキャスト)	MC ➡竹中悠真
ピン	ピン	ピン	ピン	ピン	ハンド
			YourStory セイラ(両日) ハンドマイク	YourStory イタル(両日) ハンドマイク	

第1章 そして夢は終わった…?

↳「夢の舞台」の裏側で、一人の少女が立ち止まる↳

【シーン1 昨年のフィナーレ（再演）】

♪ Sing Sing Sing

・佐藤幸大のMCからスタートして、  
昨年の『Dream Shower Vol.1』のフィナーレ 「sing si  
ng sing」をそのまま再現。  
↓ラスト全員が笑顔でキメポーズ。

【シーン2 舞台裏】

照明がじわじわと落ち着き、“終演後の空気”に切り替わる。  
舞台袖のような暗がりの中、ダンサーたちが「お疲れ様でしたー。」等声  
を上げながら  
舞台を降りていく。

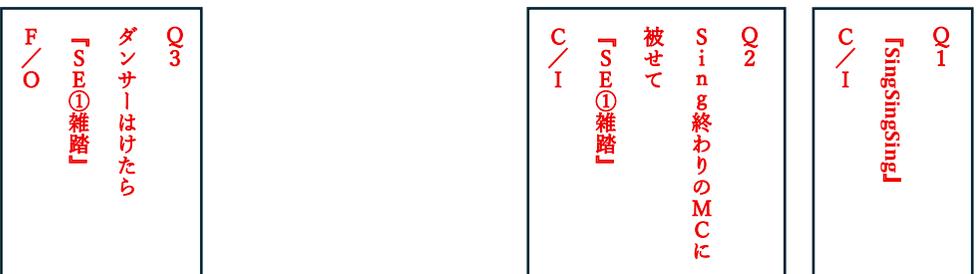
ダンサー（未那を見つけて）

「あ、いたんだ…おつかれ！」

未那 （小さく笑って）

「…うん。おつかれ。」

周囲の仲間たちは楽しく笑いながら舞台を去っていくが、  
未那だけがスポットの当たらない場所ではつんと残されている。



ピンマイク 生台詞

以降ミナ

ピンマイク生台詞

【シーン3 モノローグ】

未那 (静かに)

「……私、いたよ。ちゃんと、踊っていたよ。  
でも……誰も気づかなかった。誰も、見てなかった。

……やっぱり、私には向いてないのかな。  
みんなみたいにキラキラできないし。

“あの子いた？”って言われるの、**もう疲れた。**”

Q4

「もう疲れた」聞いたら

「ONEから

I Hope」

C/I

【シーン4 アナウンス】

突然、場内に明るいスピーカーの音が響く。

**客席中央部に照明**

MC (録音)

「さあ、今年もやってきました！」

次回公演『Dream Shower Vol.2』選抜オーディション、  
まもなく開始です！」

舞台上は緊張感のあるオーディション会場の雰囲気。

♪ I Hope I Get It (生 MC SHOJIN(仮))

・振付師のかけ声に合わせてレオタード姿のダンサーたちが次々に舞台へ現れ踊り出す。

・全員が本気で夢を掴もうとする中、主人公もその列の端に加わる。

↓ 曲中、未那は焦りながらも必死にアピールをするが、なかなか振付師に見てもらえず、「また自信を失う表情」に変化していく。

振付師 ピンマイク生台詞

【ソロパート】

(周りが踊っている中、静かに照明が未那を映す)

曲終わり

未那

(切実に)

「どうしても、掴みたい。……なのに、また……」

【シーン5 結果発表】

周囲の仲間たちが喜んで去っていく中、未那の番号は最後まで呼ばれず取り残される。

振付師

「じゃあ合格者みんな、次回公演しっかり頼むよ。」

## 第2章 Friend Like Me

〈運命の出会い、そして魔法の幕開け〉

舞台は暗く、楽屋の隅。(ほこりっぽい、散らかった感じ)

未那はひとり、オーディション後の悔しさを抱えながら座っている。

【シーン1 本の前】

未那がうつむきながら、つぶやくように：

未那 「……やっぱり、私なんか：**無理だったんだ。**」(小声)

そこに、ボロボロになった台本が一冊。細く照明が入る。

**SE**とともに**LED**二冊の台本が落ちてくる

未那が音がした方を見ると一冊の本が落ちている。

一度近づき、通り過ぎるとなんだか呼び止められる気がする。

手にとってめくると、音が響き、照明フラッシュ！

(間)

(風が吹くような効果音／舞台全体が一瞬だけ静まり返る)

【シーン2 エンタメ魔人ヴォルコ登場】

ヴォルコ 「**ウィ〜〜〜ッス!!!**」お呼びとあらば即参上!!!

もうず〜っと同じ物語の中にいたから退屈だったわよ!

未那 「きゃー!死神!あ・・・心臓が・・・。(笑)なにこれ、夢!？」

(驚きながら後ずさる)

ヴォルコ (ゆっくりと、低く)

「夢?なら都合がいい。君はさっき、

“私なんか無理”って言ったね。」

Q5 「無理だったんだ」  
聞いたら

SE②(本が落ちる)C/I

Q6 ミナが台本見て  
通り過ぎたら

SE③(本に呼び止められる)

C/I

Q7 ミナが台本を  
手に取ったら

SE④「ペラペラ」C/I

ヴォルコ山台下より登場

以降ヴォルコ生台詞

Q8 「ウィース」聞いたら

「ヴォルコのテーマ」

C/I



Q9 「とびっきり」  
聞いたら  
F/O 「ヴォルコのテーマ」

Q10 「友達さ」聞いたら  
C/I 「フレンドライクミー」

ヴォルコ生歌  
ミナ生台詞

(ヴォルコ、台本の一部をパラッとめくって見せる)

ヴォルコ「この脚本、どうやら君の人生らしい。」

でも、結末がまだ空白なんだ。

さあ、続きを書く？ それとも、閉じる？」

未那 (戸惑いながら)

「……誰なの??」

ヴォルコ (ニヤリと笑って一礼)

「私は、エンタメ界の魔人。——ヴォルコ。

夢を諦めた子の前にだけ現れる、**とびっきり**面倒で最高な

“**友達**”さ。」

ヴォルコ (キメ顔で)

「まっ！あたしに任せておきなさいってー！というわけで、

開幕のショーナンバー、いってみよ〜〜ッ！」

♪ Friend Like Me (生歌ヴォルコ)

↓ LEDキラキラのステージ。

魔人が出てきたガチャガチャ感を演出。

- ・豪華絢爛な演出×ポップなダンサー×きらびやかな照明
- ・魔人がど派手に歌い踊りながら未那を振り回す
- ・未那は最初は困惑↓途中からリズムにのせられ
- 最後にはちよっただけ笑顔に！

【曲終わりセリフ】

ヴォルコが未那のそばに立つ。

ヴォルコ 「ねえ、さっき踊ったとき、ちょっとだけ……

“楽しかった”って、思わなかった？」

未那 (小さくうなずいて)

「……うん、ちょっとだけ。」

Q11 「それがきっかけ」

聞いたら

「ヴォルコのテーマ」

C/I

ヴォルコ

「それが“きっかけ”。ステージに必要なのは、才能より、まずは楽しむ心。あなた、まだまだいけるわ。」

未那

「でも……どうすれば、変わるの？」

ヴォルコ

「むふふふふふ。」

あなたの奥に眠ってる、“魅せる力”を

ひとつずつ目覚めさせていくの！」

ヴォルコ

「まず最初は、“ユーモア”よ！」

この世界、バカになれる人の方が強いのよ！」

第3章 ユーモアってなんだ？〜バカになれる人が最強〜  
〜素直に笑って、自分を解放する魔法〜

【シーン1 ヴォルコのレッスン開始】

ヴォルコ 「あなた、真面目すぎるのよ。」

“ いい子でいよう ” としているでしょ？ ”

未那 「**だって…怖いよ。** “へタに見られたら” って思っちゃう」

ヴォルコ 「はあ（ため息）その“怖さ”が一番**ダサい！**」

さあ、どんどん恥をかいて、  
自分をさらけ出してごらんさい！」

Q12 「だって怖いよ」  
聞いたら  
F/O 「ヴォルコのテーマ」

Q13 「ダサい！」  
聞いたら  
C/I 「ハクナマタタ〜」

♪ Haku na Ma ta ta

LED ジャングル

ヴォルコ 「まずはサバンナであの子達に会ってくると良いわ。」

ちよつとだけおバカなんだけど、  
全てをユーモアで輝かせてる。  
そんなあの子達の口癖が・・・。」

- ・ダンサーたちがジャングル調のポップな衣装で次々登場
- ・アフリカダンスやハウスなどを取り入れた振付
- ・未那はテイモンに無理やり手を引かれヘンテコなポーズで、  
恥をかく勇氣”を与えられる！

Q14 曲終わり  
「アンダーザシー」  
C/I

♪ Under the Sea (生歌ヴォルコ)

LED 海底

ヴォルコ 「海の中では毎日がカーニバルよ。  
明るく楽しい海の世界であんたもはっちゃけなさい！」

ヴォルコ生歌

(間奏・ヴォルコセリフ)

ご覧なさい、この華やかで鮮やかなエンターテインメント！  
あんたいつまで恥ずかしがってんのよ。

ここにはあんたを馬鹿にする奴なんていないわ。

ただひたすらに、自分の内側にあるユーモアを燃やし続けているの。

未那、あんたもそろそろウズウズしてきた頃じゃない？

大丈夫よ、怖がらないで。

あんたなりのパッションをぶつけてごらんなさい。

何も考えずに、音楽に身を任せてるの。

その先にあんたの魅力が眠ってるわ！行くわよ！

・魚、サンゴなどポップなダンサーたちが登場

・間奏ではカッコいいラテンペアダンス

・未那はカワイイ海の仲間たちに囲まれ、恥ずかしがりつつも、

最後にはマラカスを持たされド真ん中でハチャメチャに踊る！

【シーン2 レッスン後】

未那 (ちよつと息を切らしながら)

「……なんか、笑ってる自分、久しぶりかも。」

ヴォルコ 「それが**“武器”**になるのよ。バカになれる人が、最強。

その人がいると、みんな安心するし、舞台も楽しくなる。」

未那 (少し誇らしげに)

「そっか……“カッコつけないこと”が、カッコいいんだ。」

ヴォルコ 「そうよ。でもね、楽しいだけじゃ、舞台は勝ち抜けない。

今度は……“ハングリー精神”。

“死んでも負けたくない”って気持ちちが

ステージを動かすの。」

Q15 「武器になるのよ」

聞いたら

「ヴォルコのテーマ」

C/I

第4章 ハングリー精神 声をあげろ、立ち上がれ  
「勝ちたい」って気持ち、あなたを舞台に押し上げる

【シーン1 舞台転換】

→LED NYの街並み

前章の笑いに満ちた世界が、スツと音を失う。

鉄骨、新聞の山、帽子をかぶった少年少女たち。

ニュージーズA 「号外 号外だよ!!!」

ヴォルコ（静かに）

「楽しむ力を手に入れたあなたに、

次はこれ。“悔しさ”を燃やす力。

うまくいかない時、自分に言い訳する？

それとも…(新聞屋にヴォルコがコインを渡し、買い取る。)

…立ち上がって、声をあげる？」

ニュージーズ達 「売れたぞ！やったー！」

未那 （戸惑いながら）

「……どうすれば、声をあげられるの？」

ヴォルコ「君が、“本気で夢を掴みたい”と思った時よ。

その時こそが、“あんた”の**始まり**。」

NEWSIES メドレー

(ニュージーズ1)

♪ Carry the Banner

・新聞売りの少年少女たちが新聞を売るために元気に歌い踊る  
・少しづつ歌が重なり合い、“今日も働こう”という気持ちが  
盛り上がっていく！

↓未那も新聞を抱えて立ち上がり、まだ不安げな顔をしながら  
みんなに加わる

Q16 「あげられるの？」  
聞いたら

「ヴォルコのテーマ」

F/O

Q17 「始まり。」  
聞いたら

「NEWSIES1」

C/I

Q18 曲終わり

【NEWSIES2】

C/I

(ニュージーズ2)

♪ King of New York

- ・全員が新聞を広げながら、軽快でおしゃれなステップ！
- ・一夜にして有名人になったかのような“夢が叶った感”をタップダンスを交えながらコミカルに表現！

↓ 未那が仲間に囲まれて帽子をもらい、センターでポーズ！

↓ ステージ上に笑顔があふれ、今までで一番ハッピーな空気！

(ニュージーズ3)

♪ Seize the Day

- ・曲が切り替わり、再び闘志が燃え上がる！

↓ 新聞紙を使ったアクロバティックな振付

↓ 群舞が一体となって「ストライキだ！

オレたちの未来を掴みにいくぞ！！」という決意を見せる。

↓ 最後全員セット上で「for one!」カシャッ！

↓ LEDにその写真が映し出される。

Q19 曲終わり

【NEWSIES3】

C/I

【シーン2 レッスン後】

未那 (真っ直ぐ前を見て)

「……誰かに勝ちたいんじゃない。

私が、“私に負けたくない”だけなんだ。」

ヴォルコ「それが、“ハングリー精神”。

諦めないってことは、それだけで強さなのよ。」

未那 「負けても、もう逃げない。絶対。」

ニュージーズ達 「うおーーーーー!!」

ヴォルコ (にやっと)

「フッ。ならば次は——“気品と美しさ”ね。

この世界、“気高くいられる人”が、一番カッコいいのよ。」

Q20 「ならば次は」

聞いたら

「ヴォルコのテーマ」

C/I

第5章 Elegance is Power 〈気品は、静かな自信〉  
〈自分を信じることで、舞台上に“立てる人”になっていく〉

【シーン1 静寂の中の変化】

未那 「……気品って、どうすれば手に入るの？」

ヴォルコ 「それはね……自分の動きに、誇りを持つこと。」

背筋を伸ばすのも、視線をまっすぐにするのも、  
すべてはあなたの**“意志”**。美しく、そしてエレガントに。」

Q21 「あなたの意思」  
聞いたら  
「ヴォルコのテーマ」  
F/O

(エレガンス1)  
♪Steppin' Out With My Baby  
生歌 竹中悠真

竹中悠真 「**レディースエンジェントルメンイッツショータイム・・・**」

・カチッと揃ったオーソドックスジャズナンバー  
・まずは身なりから。英国風の執事が登場し、ジャケットとハットの  
着こなしをレクチャー。エレガントな身のこなしを習得。

(エレガンス2)  
♪Top Hat, White Tie and Tails  
生歌 竹中悠真

竹中悠真 「未那”真のエレガントさ”は足元から。」

・中割り幕を使った演出

・白で揃えた衣装にステッキを使った振付、  
クラシカルなフォーメーションで“  
品格とエレガンス”を感じさせるTAPナンバー。  
上質な足捌きを習得。

Q23 曲終わり  
「エレガンス2」  
C/I

Q22 「ショータイム」  
聞いたら  
「エレガンス1」  
C/I

Q24 曲終わり  
『エレガンス3』  
C/I

(エレガンス3)  
♪ Sing in the Rain 生歌 竹中悠真

↓LED 雨が降る街

・傘を使ったダンスで、映画×ミュージカルの魅力を表現。  
・大雨の中みんなで踊り狂い、雨が晴れるのと同時に未那の心も晴れていく様を演出。

(SE雨音)

ヴォルコ (そつと傘をさしながら語る)

「そう。“踊ってる自分が好きだ”って思えたとき、人は……本当に、美しくなれるの。」

未那 (小さく)

「……こんな私でも、“見られていい”んだって思えた。」

ヴォルコ (ふっと笑って)

「ううん。“見られる価値がある”って、**ようやく気づいたの。**」

未那 (じつと魔人を見る)

「ありがとう。」

ヴォルコ (傘を閉じて)

「……雨も止んだわね。」

未那 (ジャケットを払いながら微笑んで)

「でもびっちょびちょよ。」

ヴォルコ 「ほんとよ。そんなんじゃモテないわよ。」(ジャケット受取)

ヴォルコ (にやつと)

「よし、じゃあ次いきましょか。……いや、前ね。ちよつと忘れてるものがあるのよ。」

それは……“あなたが最初に夢を見た時の、まっすぐな気持ち。”」



Q25 曲終わりで  
SE⑤(雨音)  
C/I

Q26 「気づいたの」  
聞いたら  
SE⑤(雨音)  
F/O

第6章 原点（あの日、夢を見た自分を取り戻す）  
（あなたが初めて「舞台に立ちたい」と思った時の気持ち、覚えている？）

【シーン1 子ども部屋の記憶】

ヴォルコ 「あなたが最初に、舞台に憧れたのはいつ？」

未那 （ほつり）

「小さい頃……舞台で一生懸命歌う“あの子”に憧れて……  
“私も、ああんりたい”って……そう思った気がする。」

ヴォルコ 「あなたはどこかに置いてきたのね。で

もその子は、今もちゃんと、あなたの中に**生きてる。**」

（アニー姿の女の子にサス）

Annie メドラー

（アニー1）

♪ Tomorrow (生歌アニー)

・照明がやわらかく変化し、朝焼けのような色に。  
・アニー役の子が上手でひとり歌い始める。

未那はかつて憧れた“あの子”に思いを馳せ、  
それをじっと見つめている。

（間奏未那セリフ）

未那 「いつからだろう。”明日なんてこない“って思うように

なったのは。小さい頃、私も夢を歌ってた。

明日になればきっと願いが近づいて。そう信じてた。」

Q27 「生きてる」

聞いたら

「アニー1」

C/I

アニー マイク生歌

・セリフ中の子供の頃の未那が何度つまづいても立ち上がり  
夢のために練習する姿を見せる

↓後ろから子どもたちが徐々に加わり、  
全員で歌い上げるように広がっていく！

↓キッズたちが本気で歌い踊ることで、大人もグツとくる構成。

(アニー2)

♪ Hard Knock Life

↓LED 孤児院

・子供たちはボロボロの衣装で、床を磨いたり雑巾を投げたり。  
↓歌いながらも元気に踊り、“辛さの中に希望がある”を体現！  
・未那は振り回されながらもみんなと一緒にステップを踏み  
かつて子供の頃の自分のように全力で歌い踊る。

(間奏)

アニー「ピーピー！さあ立ち上がれ！

ピーピー！泣き言はシャツに包んで捨てちまえ！」

Q28 曲終わり

上手側でアクション

「アニー2」

C/I

Q29 曲終わり

「アニー3」

C/I

アニー・ヴォルコ

マイク生歌

(アニー3)

♪ N Y C (生歌ヴォルコ×アニー)

↓LEDネオンが輝くニューヨークブロードウェイの街並

↓世界は未那が子供の頃から憧れたニューヨークブロードウェイへ

アニー 「未那、今こそあなたがスターになる番！

思う存分輝いてらっしゃい！」

・ボロボロの衣装が華やかなブロードウェイの衣装へ早替わり  
・タップダンスとシアターダンスを子供達がキラキラに踊り  
未那は子供の頃描いた夢をここでもう一度再確認する。

アニー 「・・・バイバイ、未那！」

【シーン2 対話】

未那 (そっと微笑んで)

「……なんであの時の私は、あんなにまっすぐだったんだろう。でも……また、あの気持ちに戻れた気がする。」

ヴォルコ「あなたはちゃんと進んできた。

でも一度くらい、“はじめの一步”を思い出してみるのも、悪くないでしょ？」

ヴォルコ「さて、ここからは“覚悟”の時間。

“憧れ”じゃなく、“現実を突き破る力”を  
持たなきゃいけない。」

↓ 舞台が深紅と黒に染まり、照明がビシッと切り替わって暗転。

【休憩アナウンス】

ヴォルコ「おやおや、感動しすぎて鼻水すすってるそのあなた！

少しだけ、夢の余韻に浸る時間をあげようね。

ひとまずここでブレイクタイムってわけさ。さあ、15分の  
休憩だよ。

泣きすぎてメイクが落ちた人は今のうちに直しておいで。

ここから先は君自身の物語が動き出す時間。

ほら、夢ってやつは急に走り出すから、

次のステージに乗り遅れないようにね？

15分後、またこの劇場で会いましょう。」

休憩 15分

「休憩終わり3分前」

未那 「あと3分で、第2幕が始まります。

夢の続きをちゃんと届けたいから・・・

どうぞ、お席にお戻りください。

私はいつも途中で諦めそうになってたけど・・・

今日だけは最後までやり切りたい。

だから・・・あなたも、見届けてくれると嬉しいです。

それが私とあなたの“Dream Again”だから。」

第7章 色気ってなんだ？「私」を武器にする覚悟

「人の目を惹きつけるのは、ただの綺麗さじゃない。」

“自分を信じる目”だ。」

【シーン1 静かなる挑戦】

ヴォルコ (静かに歩きながら)

「あなたは今、自分が“綺麗じゃない”って思ってるでしょ。」

未那 「当たり前じゃん！私なんて・・・。」

ヴォルコ (ピタッと立ち止まり、振り返って)

「それが一番の損よ。“私なんて”って思う人には、

誰も目を向けない。

でもね、“私はここにいる”って信じられる人は、

ただ立ってるだけで、**もう魅力的なの。」**

↓カツカツカツとヒールの音。

(ド派手なドラマグクインに照明が入り、ヴォルコがヒールを指差す)

ヴォルコ 「さあ、見なさい！カッコつけなくていい。

“あなた”を見せて。」

Q30 「魅力的なの」

聞いたら

「セクシー」

C/I

(セクシー1)

♪ Sex is in the Heel

↓LEDファッション、ヒール、リップなどポップに演出

- ・派手に着飾ったダンサーたちがヒールで登場。
- ・ファッションショーのような演出
- ・未那は姿勢も足元もおぼつかないが、周囲のダンサーたちに囲まれて、少しずつ“魅せる身体の動き”を覚えていく!

途中で髪をほどかれ、口紅を塗られ見た目も女性らしくなる。

・ラストサビくらいで中割り幕クローズ(バレエバーセッティング)

(セクシー2)

♪ Big Spender

- ・中割り幕がゆつくりと開くと、セクシーな女性達がバレエバーに体を傾けるようにポーズをとっている。

・「あたしが世界で一番美しいわ。男達寄って来なさい。」という女性達から“ホンモノ”の色気を学ぶ。

(セクシー3)

♪ Le Jazz Hot

- ・半身男性半身女性のダンサーが未那にかざらないありのままの自分を魅せる。

・ジェンダーを超えて、“これが私!”という最高の自己表現!!

Q31 曲終わり

「セクシー2」

C/I

Q32 曲終わり

「セクシー3」

C/I

【シーン2 対話】

ヴォルコ（そばに来て）

「……あの頃のあなたなら、きっと今のあなたを見て、  
“カッコいい” って言うと思うわ。」

未那 「……やっど、“隠さなくていいんだ” って、思えた。」

ヴォルコ 「魅力ってね、作るものじゃない。信じるものよ。  
その自信が、人の目を惹きつけるの。」

未那 「……私、やる。もう、誰の顔色も見ないで踊る。」

第8章 情熱は嘘をつかない（魂ごと踊れ）  
（舞台上で燃やすのは、心。自分を信じる情熱だけが本物だ）

【シーン1 ヴォルコの最後の試練】

ヴォルコ（静かに）

「ここまで来たあなたは、もう十分に輝ける。  
でも——最後に必要なのは、“情熱”。  
どんな状況でも、心を燃やすの。  
そう、電気が全身を駆け巡るように。」

未那（強くうなづく）

「うん。」

（情熱1）

♪ Billy Elliottメドレー（生歌ビリー）

イントロでビリーのセリフ

「君は何で踊ってるの？ボクは・・・」

・ビリー役が静かに“何か解放されるような目”で立ち、歌い始める。  
・歌が始まり、「電流のような感情の爆発」が歌とダンスで表現される

↓歌の終盤から、音楽はそのままバレエにシフト

【Electricity（バレエパート（共演シーン））】

・現在の未那がさらに目指す存在、対になるように踊る

・オールダービリー登場

・クラシックな照明で、繊細なアラベスクやリフト、ラインを重視

↓“夢見る自分”と“今の自分”がリンクしていくような感動的演出

↓最後は3人が同じポーズでピタッと揃い、照明がふっと落ちる

Q33 「うん」  
聞いたら  
「情熱1」  
C/I

Q34 曲終わり

「情熱2」

C/I

(情熱2)

♪ Steam Heat

- ・スーツ・帽子を使ったシンプルで高度なリズムナンバー。
- ・コメディ要素も含めつつ“フォッシーのミニマル美”を表現。
- ・フォッシーの振付で派手ではない内なる情熱を出す。

Q35 曲終わり

「情熱3」

C/I

(情熱3)

♪ MJメドレー

- ・白シャツ・黒パン・ハットでタイトフォーメーションダンス
- ・Mらしい無機質で洗練された動きで、
- ・ステージに“プロフェッショナル”の風が吹く
- ・照明が赤×黒に染まり攻撃的なビートが響く
- ・センシユアルかつストリートなグルーヴ
- ・未那はマイケルジャクソンが憑依したかのように踊り
- 「キングオブポップ」を体験

Q36 曲終わり

「This is me」

C/I

♪ This Is Me

↓LED 感動的な映像

- ↓最初は未那のソロでスタート
- ↓徐々にかつて未那と一緒に踊った仲間たちが後ろから歩み寄ってくる演出
- ↓全員が彼女の周りに集まり、ひとつの輪となって歌い・踊る
- ↓「これが私！」という最大の肯定と解放のシーン！
- ↓ラストは未那がセンターでポーズ。背後の仲間が彼女を讃える。

【シーン2 静かな確信】

未那 (強く、でも柔らかく)

「今なら、言える。私、ここに立ちたい！」

ヴォルコ (少し寂しげに微笑む)

「……そうね。あなた、もう“誰かに教わる段階”は卒業たわ。

さあいよいよ“本番”よ。

この舞台で、あなたがどんな結末を描くのか——

見せてもらおうじゃない。」

第9章 あなたが主役（このステージが、私の場所）  
（これは、誰かの物語じゃない。“私”の物語だ）

【シーン1 オーディション会場】

- ・ 上手中台に振付師登場
- ・ 未那が選ばれ、未那は深々とお辞儀をする。

・ 未那が正面を向いて力強くうなづく。

♪ 4 2 n d S t r e e t

↓ 音楽が華やかに広がり、舞台全体が劇場に！

- ・ 未那がソロから堂々とステップを刻み始める
- ・ フォーメーションを変えながら、未那が自然に“  
ショーのリーダー”として踊る
- ・ ラストはタップダンスの大ユニゾンで盛大にフィニッシュ！！

Q37 ミナが正面  
向いて強く頷いたら  
【42nd street】  
C/I

【ラストセリフ】

（音が止まり、未那にだけスポットが当たる）

未那 （静かに、でも力強く）

「ここが、私のステージ。」

誰がなんと言おうと、私が、ここに立つことを選んだ。

逃げた昨日も、迷った日々も、

全部このシーンのためにあった。

今なら、胸を張って言える――

私は…**主役だ**」

↓セリフ終わりと同時にLEDにタイトルドーン……！！

今回は最後の最後にタイトル出す！

コレがどうしてもやりたい！！笑

（タイトルだけ残して暗転）

Q38 暗転後

【You can stop the Beat】

C/I

【カーテンコール】

♪ You Can't Stop the Beat

↓キャスト全員が公演「シャツを着て笑顔で登場

↓SHOJINマイクを持って軽快なトークで登場！

会場がワツと沸く！（予定。笑）

【MC & 挨拶】

SHOJIN（マイクを持って笑顔で）

「皆さん、本日はご来場ありがとうございますー！！」

（拍手）

「今日の物語、楽しんでいただけましたか！？

出演者のみんな、そして舞台の上に立った“あの少女”も、

最初は一步も前に出られなかった子でした。

でも今……このステージで、誰よりも輝いてましたよね？」

（客席に向かって）

「今日はそんな“自分を信じる力”と一緒に

感じてもらえてたら嬉しいです！

さあラストは、会場のみなさんも一緒に

踊っちゃいましょう！」

・ダンスレクチャー

【ゲスト参加ダンス】

・クルクルクルクラブシェイクシェイクなどシンプル&楽しい振付で

・子どもも大人も立ち上がれるような、ハートフルな時間！！

【ラストポーズ】

・全員がセンターに集まり、客席も一体でフィニッシュ！

↓ステージが光で満たされ、「Dream Shower Vol.2」のロゴがドーンと現れて

フィニッシュー！！

(ロゴだけ残して暗転。出演者ハケ)

【アンコール】

① SHOJIN Show-Base KANSAI ナンバー

・関西スタジオメンバー限定のDisneyメドレー

↓LED・関西LABOロゴ

Q39 暗転後  
「Disneyメドレー」  
C/I

Q40 拍手間見つつ  
「Your Story」  
C/I

② Your Story(生歌ヴォルコ×キッズ2人)

↓LEDいつものお城に花火

・出演者全員で壮大なフィナーレでは

3名シンガー生歌